

# 「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社オカムラ	代表取締役社長執行役員	中村 雅行	横浜市	製造卸売業	<a href="http://www.okamura.co.jp/">http://www.okamura.co.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年 8月15日
-------	-------------

**(取組方針)**

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

**(法令遵守への配慮)**

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

**(契約内容の明確化・遵守)**

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	・取引先を交え、継続して物流改善に取り組んでいます。主に、自動化・省人化への取り組みやトラック待機時間の削減活動、ドライバーの労働環境改善などに取り組んでいます。
2	A	②	配車システムの導入	・新たな配車システムの導入を進めています。入門時刻や品揃え完了予定時刻などが見える化し、ドライバーの拘束時間の改善を図っています。
3	A	⑥	集荷先や配送先の集約	・生産拠点及び調達先に近い場所に集荷先を整備していきます。また、地場配送拠点の整備により、直納から幹線便を活用した地場配送に切り替え、輸送効率の向上を図っています。
4	A	⑨	荷主側の施設面の改善	・より納品先に近い物流センターを運営・強化することで、輸配送時間の短縮を図っています。
5	D	①	荷役作業時の安全対策	・労働災害発生防止のため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じています。
6	F	①	繁忙期の平準化	・繁忙期の輸送量を平準化できるように在庫備蓄、納期工期の調整等、製造・販売・物流・施工部門一体となって対策を講じています。
PR欄				・オカムラグループは、事業活動を通じてステークホルダーの皆様に対する責任を果たし、社会から信頼され愛されるグローバル企業をめざしています。「コンプライアンスの推進」、「クオリティの追求」、「地球環境への取り組み」、「情報の開示」、「よりよい職場づくり」、「人権の尊重」、「社会との調和」の7つの柱からなるCSR方針のもとで企業活動を行っています。